

## C グループ IN 衣川区

福祉系

### 公共施設視察状況

○衣川保健福祉センター ○衣川診療所  
○衣川歯科診療所 ○特別養護老人ホーム羽衣荘  
○木質バイオマスガス発電施設  
保健、医療、福祉、三位一体施設構想が浮上したの15年前とされ、平成4年特養ホーム羽衣荘が開設されてから急ピッチで事業が着工され、福祉センターが完成。役場の保健福祉部門が併設され、住民福祉に迅速に対応。縦と横の連絡が密となり、総合保健医療福祉のセンターとしての機能が十分に発揮され成果をあげていた。

### 行政執行状況等説明及び懇談会

健康福祉行政に係る部分についてのみ報告します。①集団検診廃止後受診率が低下、特にも老人受診が低下した。  
②福祉関係予算、補助金の廃止及び減額により地域活動の低下が懸念される。  
③本庁と支所との連携を密にし、地域の現実に配慮した行政運営が必要である。

なお、住民から「合併し何がよくなくなったか教えて欲しい。」との話が出ることもあり、一層の努力が必要と認識しているとのことでした。

### 公共的団体等との懇談会

○衣川区保健推進委員協議会：保健推進委員の役割は重大であり、衣川区の様に隣と隣が遠い地域にあつては、保健推進委員を減らすことなく、住民福祉活動に専念させてはどうか。  
○衣川区食生活改善推進協議会：地区の公民館やセンターを利用して食の安全を考え、自主活動をしている。年に10回程度開催し、意見交換をしながら、グリーンツーリズム受入体験農家の一助にと期待を持ちながら活動に励んでいる。

○社会福祉協議会衣川支所：計画した事業は減らしたくない。皆さんに充実した福祉活動を実行したい。予算、補助金の減額により、当初から計画できなかった事業があるが、この復活を願っている。

○衣川区民生児童委員協議会：事業は、定期事業として月2回、子育てサロン「わんぱーく」を実施している。委員以外の方も参加してくれているので感謝している。

○衣川ボランティア推進会：目的意識を持ち、会員相互の連携を密にし、地域社会の構築に向けて団体の強化と継続性のある活動を行いながら、地域に根ざしたボランティアを探索している。

## D グループ IN 水沢区

産業系

### 公共施設視察状況

○奥州市鑄物技術交流センター  
○奥州市伝統産業会館（キューポラ館）  
○Zプラザアテルイ

平成14年に開設した鑄物技術交流センターは、生産技術高度化機能、人材育成確保機能、設備機器開放機能、コーディネート機能の4つの機能を有している。伝統産業会館には、日本初の鑄物太鼓が展示されており、また南部鉄器ができるまでの工程を見ることができ、Zプラザアテルイは、年間9万人を超える来館者があり、総売上は7千万円を超えている。

### 行政執行状況等説明及び懇談会

組織機構の問題では、本庁業務を併せ持つため多忙であり、市民からは窓口がわからないとの指摘もある。また、将来を見通した対策が必要であり、水沢支所は廃止すべきではないかということや、部長制を基本に一元化すること。  
庁舎は分庁とすべきではないか等の意見が出された。予算については、新市建設計画では、保健福祉市民センターを見直した。それ以外では、市道の管理など、市民から不満が多く、市全体の順位をつけ予算配分するなどしてやっていきたい。中心市街地活性化計画は、この街にどのような店舗が必要か等、検討して取り組む必要があること。

### 公共的団体等との懇談会

水沢観光協会は、市からの受託事業、観光案内などを行っており、昨年火防祭が札幌まつりに参加したことで、観光客が増えるのではないかと、7月から9月までに首都圏からの観光客が増える見込み。会議所は、会員2千人「何でも相談」を実施している。19年度は、創立60周年を迎える。光ファイバーの要望があり実現する見通しとなった。「よさこい、商人まつり、花火大会」等のイベントを実施しており、課題として、商工団体の合併の話が進んでいるところ。商店協同組合は、組合員45名、水沢区内の商品券とごきげんカードの2つの事業を実施している。認定農業者連絡協議会は、会員数150名、定期的に勉強会を開催し、産産を元気にするため活動を行っている。

## E グループ IN 江刺区

建設・まちづくり系

### 公共施設視察状況

○江刺中核工業団地：92haのうち92%分譲済。  
○フロントエアパーク：リース契約による活用を可能にし、5年間半額補助制度を用意。

○城山工業(株)奥州工場：自動車部品を、ロボットによるスポット溶接で製作。  
○蔵町モール：蔵を中心

に景観を整えている。

### 行政執行状況等説明及び懇談会

「藤原の郷」については、土の上に直接建てられている掘建小屋や塀（泥壁）の補修が進められている。平泉で、そのまま復元されることになる。藤原の郷にとつては脅威となること。本庁との係わりで、本庁機能がなっていない。5年後の事務事業をどうするか写真真もなく、ただ総合支所に「人を減らせ」というだけではダメでないか。減らす以上仕事も持つて行くべきで、この問題を検討する専門部も必要ではないかという指摘がされました。

### 公共的団体等との懇談会

○水先花沢渡船場河辺自然公園を整備する会・下川原水辺環境をよくしよう会：水辺環境の改善、水質調査、観察会などを行っているが、資金面で困っている。市にも助成をお願いしたい。  
○江刺建設業協会：合併特例債の更なる積み増しと前倒し発注、江刺区での発注、年度出来るだけ早めの発注、金額の大きい工事は区内JVへの発注等を求めている。

○江刺上下水道工事業協同組合：下水道の普及率の早めの向上、簡易水道の未接続世帯の解消、本管工事の地域要望に応じていただき、水道施設の維持管理を同組合へ委託して頂きたいとのこと。



城山工業(株)奥州工場での調査